

研究課題名 がん・炎症性疾患の糖鎖異常に関する研究（14107）

① 研究の目的

糖鎖はタンパク質の機能を調整する重要な生体分子の一つで、近年その解析技術の進歩から様々な生物機能が明らかにされてきました。糖鎖の構造は、がん化や炎症に伴って大きく変化することから、今日臨床的に用いられている腫瘍マーカーの多くが糖鎖に関連したものです。私たちは本研究で、消化器がん・炎症性疾患を中心に、解析技術を駆使して糖鎖関連分子同定と機能解析を行います。そして様々な疾患との関連から、糖鎖関連分子の診断マーカーとしての意義、病因・病態との関わり解析、診断キットの開発、さらには糖鎖関連分子を標的にした新しい治療法開発のための基礎的検討を行っていきます。

② 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2029 年 9 月 30 日

③ 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）

および、利用し、または提供する試料・情報の項目

本研究では、さまざまな異常糖鎖検出キットを用いて測定しますが、これらの検査は研究費で行われます。従って、患者さんには費用負担は生じません。しかし病状の診断や経過観察をするために必要な血液検査や肝生検検査、画像検査、手術などは、通常の保険診療で行われるものとなります。なお、ご参加いただくにあたっての謝金などのお支払いもありません。臨床情報には年齢、性別、体格、血液検査結果が含まれます。

④ 利用する者の範囲

本研究で得られたデータについては大阪大学で利用します。また、本研究に沿う新たな研究計画に2次利用する可能性があります。

⑤ 試料・情報の管理についておよび、責任を有する者の氏名または名称

臨床データ・その他の情報はすべて匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理者によって厳重に管理されます。試料・情報の管理は下記のもの（鎌田佳宏）が行います。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。各科で包括同意によって保存されております血清（下記研究課題の対象）などの検体の利用やご自身の検査結果などの研究使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

08226「消化器疾患患者生体試料の保存」責任研究者：土岐祐一郎教授

08255 「膵疾患患者の膵組織検体試料の保存」 責任研究者：林紀夫教授（竹原徹郎教授が分担者）

071012-5 「本邦における非アルコール性脂肪性肝患（NAFLD）の実態と予後の解明」 責任研究者：竹原徹郎教授

18528-2 「胸部悪性腫瘍の新規血清スクリーニングマーカーの解析」 研究責任者：新谷康教授

13397-11 「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」 研究責任者：野々村祝夫教授

11122 免疫関連疾患・呼吸器疾患の病態解析のための検体バンクの構築 加藤保宏（免疫内科）

10081 心不全病態解明のための、遺伝子発現、蛋白機能および病理組織解析による探索研究

23101 急性冠症候群患者に対する社会医療システムと個別化治療戦略の継続的な最適化を目的

とした多施設前向き長期的観察研究：REVEIL-ACS registry

⑥ 研究体制

研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学・教授 三善英知

住所：〒565-0871 吹田市山田丘 1-7

Tel & Fax: 06-6879-2590

研究分担者

近藤純平・医学系研究科保健学専攻 生体病態情報科学・准教授

鎌田佳宏・医学系研究科 生体物理工学・教授

高松真二・医学系研究科 生体病態情報科学・特任研究員

竹原徹郎・医学系研究科 消化器内科学・教授

巽 智秀・医学系研究科 消化器内科学・准教授

土岐祐一郎・医学系研究科 消化器外科学・教授

江口英利・医学系研究科 消化器外科学・教授

岡本成史・医学系研究科 生体病態情報科学・教授

小関正博・医学系研究科 循環器内科学・助教

新谷 康・医学系研究科 呼吸器外科学・教授

野々村祝夫・医学系研究科 泌尿器科学・教授

加藤大悟・医学系研究科 泌尿器科学・助教

西出真之・医学系研究科 免疫内科学・講師

熊ノ郷淳・医学系研究科 免疫内科学・教授
坂田泰史・医学系研究科 循環器内科学・教授